

株主通信

平成28年11月



つなぐ、むすぶ、広げる、未来へ

The Next Perspective

YBHD NEWS No.48



株式会社 横河ブリッジホールディングス

証券コード：5911



代表取締役社長

岩井 久司

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
ここに、株主通信「YBHD NEWS」第48号をお届けし、第153期上半期(平成28年4月1日から平成28年9月30日まで)の事業の概況につきまして、別記のとおりご報告申し上げます。

我が国経済につきましては、雇用・所得環境の改善傾向が続いておりますが、円高や新興国経済の減速による企業収益の悪化を受け、景気の見通しは依然として不透明な状況が続いております。

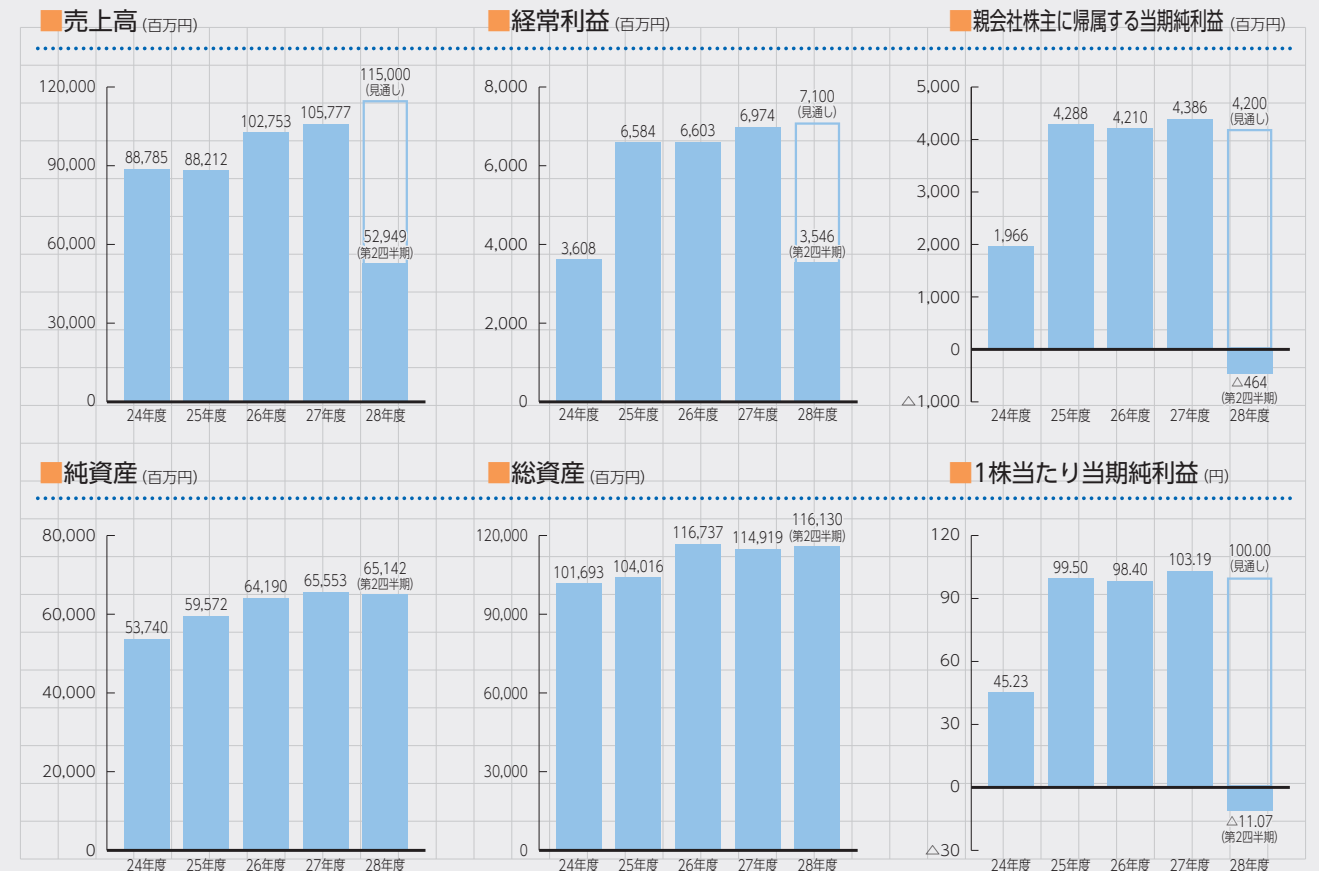
建設投資につきましては、首都圏を中心とする再開発プロジェクトや東京オリンピックに向けたインフラ整備など今後も堅調に推移するものと思われま。当社グループの中核事業であります橋梁事業のうち、新設橋梁の発注量は横ばいの傾向にありますが、老朽化が進む橋梁の維持・補修が大きな課題となっており、保全事業の市場が拡大するものと思われま。そのため、新設橋梁事業と橋梁保全事業を一体として捉え、橋梁事業全体での成長を目指してまいりま。また、引き続きシステム建築事業等のエンジニアリング関連事業への取り組みを強化し、事業規模の拡大と収益の確保に努めてまいりま。

当社は、株主の皆様に対する利益配分を最重要施策の一つと認識し、業績・配当性向などを総合的に勘案のうえ安定した配当をすることを基本方針としております。今年度上期の業績は厳しい結果となりましたが、通期の業績につきましては前期実績近くまで回復する見込みとなりました。このため、当期の中間配当金につきましては1株につき8円とさせていただきます旨10月31日開催の取締役会で決議いたしました。期末配当を合わせた年間配当金は、16円とさせていただきます予定でおります。

当社グループを取り巻く事業環境は依然として厳しい状況が続いておりますが、役員・従業員一同、株主の皆様のご期待に応えられますよう努力してまいりま。引き続き倍旧のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年11月

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度 (第2四半期)
売上高 (百万円)	88,785	88,212	102,753	105,777	52,949
経常利益 (百万円)	3,608	6,584	6,603	6,974	3,546
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	1,966	4,288	4,210	4,386	△464



当社グループの第2四半期

の業績につきましては、

受注高は420億7千万円

(前年同期536億1千万円)

売上高は529億4千万円

(同522億1千万円)

**親会社株主に帰属する
四半期純利益**

4億6千万円の損失

(同24億8千万円の利益)

となりました。

各事業別の状況は

次のとおりです。

1 橋梁事業

受注高は212億8千万円(前年同期比31.7%減)となり北海道開発局・清見橋、関東地方整備局・月明川橋、沖縄県・沖縄都市モノレール軌道桁などを受注いたしました。大きく落ち込みました。

売上高は橋桁落下事故の直接的・間接的影響から低迷し、当第2四半期終盤から回復の傾向がみられますものの、301億円(同12.6%減)、営業利益は16億円(同37.0%減)にとどまりました。

2 エンジニアリング関連事業

受注高はシステム建築事業が前年度同期を上回る受注となりましたものの、土木関連事業の受注が前年同期を下回りましたため、183億1千万円(前年同期比14.0%減)にとどまりました。

売上高はシールドトンネル用セグメント、防潮堤などの土木関連事業の伸長により、205億4千万円(同26.2%増)、営業利益は18億8千万円

(同37.1%増)と前年同期をそれぞれ上回り、橋梁事業の業績の落ち込みを補う形となりました。

3 先端技術事業

受注高は精密機器製造事業の受注が好調でありましたため、24億7千万円(前年同期比113.1%増)となりました。

売上高は精密機器製造事業の好調な受注により、19億円(同71.6%増)、営業利益は2億9千万円(同168.5%増)の増収増益となりました。

4 不動産事業

不動産事業の売上高は3億9千万円(前年同期比0.9%増)となりました。

今後の見通し

当第2四半期連結累計期間における業績の進捗状況並びに橋桁落下事故に関連する受取保険金、平成28年10月31日発表の固定資産の売却益の計上などを勘案し、平成28年5月13日に公表いたしました平成29年3月期の連結業績予想を変更しております。

本格的な大規模更新事業の第一弾 ～小仁熊橋床版取替工事について～

株式会社横河ブリッジより、表記についてご紹介します。

工事名称 長野自動車道 小仁熊橋床版取替工事
所在地 長野県東筑摩郡筑北村西条地先
当該路線 長野自動車道 安曇野IC～麻績IC間
工期 平成27年12月9日～平成29年12月27日
発注者 東日本高速道路株式会社 関東支社 長野管理事務所



小仁熊橋全景

建設から長い年数が経過する橋梁が増加し、橋梁の老朽化対策が課題となっておりますが、NEXCO等の高速道路会社を中心に、橋梁の大規模更新事業が本格的に始まりました。この事業は、主に老朽化した既設鉄筋コンクリート床版(RC床版)をより耐久性の高いプレキャストPC床版に取り替えるものです。

小仁熊橋は、長野自動車道安曇野ICと麻績IC間に位置し、山間部のダム湖上に架橋されているため施工上の制約が多く、現場作業は全て橋面のみを活用して行いました。

工事は交通の影響を軽減させるため、対面通行規制を行い片側ずつ床版を取り替えました。工程の短縮と作業の効率性、安全性を考慮し、昼間は既設床版を撤去、夜間は新設PC床版を設置という流れで作業を行いました。今年の9月5日より上り線の施工を開始し、約30日間で床版の取り替えおよび伸縮装置の取り替えが完了いたしました。

下り線側の施工は、来年5月～7月で行う予定となっております。

本工事は、東日本高速道路株式会社の本格的な大規模更新工事の第一弾であるため注目度が高く、報道関係をはじめとした見学者も多く、現場スタッフも常に緊張感をもって作業を進めております。

当社グループは、橋梁事業のリーディングカンパニーとして、橋梁の大規模更新事業にも積極的に取り組んでまいります。



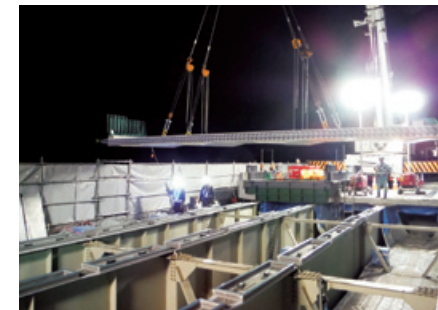
大型クレーンによる床版撤去



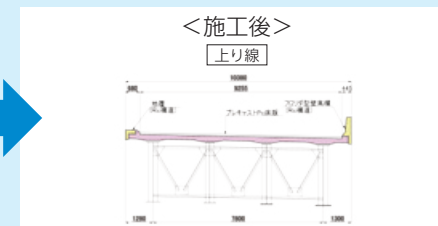
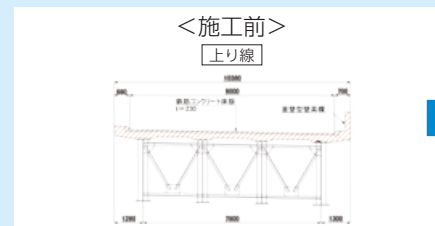
床版の損傷状況



平成28年10月末時点の状況



床版の架設状況



【橋梁諸元】

構造形式 鋼4径間連続桁橋
橋長 197m
桁長 196.75m
有効幅員 9m

【施工概要】

床版取替 2,045㎡
間詰コンクリート 82.7㎡
壁高欄 197m
伸縮装置取替 13,884箇所

〈プレキャストPC床版98枚(2,030㎡)、現場打ち床版(15.5㎡)〉
〈97箇所〉
〈直壁型壁高欄 → フロリダ型壁高欄〉
〈鋼製フィンガージョイント〉

■ 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	当第2四半期 連結会計期間末 平成28年9月30日現在	前 期 末 平成28年3月31日現在
資産の部		
流動資産	76,869	76,692
現金預金	10,892	18,545
受取手形・完成工事未収入金等	58,708	52,740
有価証券	2,182	388
たな卸資産	999	1,183
その他	4,089	3,848
貸倒引当金	△ 3	△ 14
固定資産	39,260	38,226
有形固定資産	19,584	18,815
土地	10,090	9,760
その他(純額)	9,493	9,054
無形固定資産	972	942
投資その他の資産	18,703	18,468
投資有価証券	15,632	15,438
その他	3,070	3,029
資産合計	116,130	114,919

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(単位:百万円)

	当第2四半期 連結会計期間末 平成28年9月30日現在	前 期 末 平成28年3月31日現在
負債の部		
流動負債	30,567	37,421
支払手形・工事未払金等	17,431	15,750
短期借入金	—	2,400
1年内償還予定の社債	100	2,500
1年内返済予定の長期借入金	232	3,732
未払法人税等	785	2,208
未成工事受入金	2,856	2,570
工事損失引当金	3,692	3,821
賞与引当金	2,001	1,988
事故関連損失引当金	2,130	—
その他の引当金	69	69
その他	1,268	2,380
固定負債	20,420	11,944
社債	2,500	—
長期借入金	6,552	768
役員退職慰労引当金	624	670
退職給付に係る負債	8,709	8,546
その他	2,034	1,959
負債合計	50,988	49,365
純資産の部		
株主資本	60,396	61,192
資本金	9,435	9,435
資本剰余金	10,089	10,089
利益剰余金	43,603	44,399
自己株式	△ 2,731	△ 2,731
その他の包括利益累計額	3,314	3,166
その他有価証券評価差額金	4,262	4,114
土地再評価差額金	△ 947	△ 947
非支配株主持分	1,432	1,194
純資産合計	65,142	65,553
負債純資産合計	116,130	114,919

■ 四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

	当第2四半期 連結累計期間 平成28年4月 1日から 平成28年9月30日まで	前第2四半期 連結累計期間 平成27年4月 1日から 平成27年9月30日まで
売上高	52,949	52,215
売上原価	45,595	44,873
売上総利益	7,354	7,342
販売費及び一般管理費	3,928	3,689
営業利益	3,425	3,653
営業外収益	254	212
営業外費用	133	190
経常利益	3,546	3,675
特別利益	0	155
特別損失	3,870	29
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△ 324	3,800
法人税等	△ 99	1,240
四半期純利益又は 四半期純損失(△)	△ 225	2,559
非支配株主に帰属する四半期純利益	239	77
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△ 464	2,482

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	当第2四半期 連結累計期間 平成28年4月 1日から 平成28年9月30日まで	前第2四半期 連結累計期間 平成27年4月 1日から 平成27年9月30日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	△ 3,226	3,413
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 2,549	△ 557
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 354	△ 6,042
現金及び現金同等物に係る 換算差額	△ 22	△ 3
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△ 6,153	△ 3,189
現金及び現金同等物の 期首残高	18,515	14,271
現金及び現金同等物の 四半期末残高	12,362	11,081

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

株式情報 (平成28年9月30日現在)

Stock Information

株式の状況

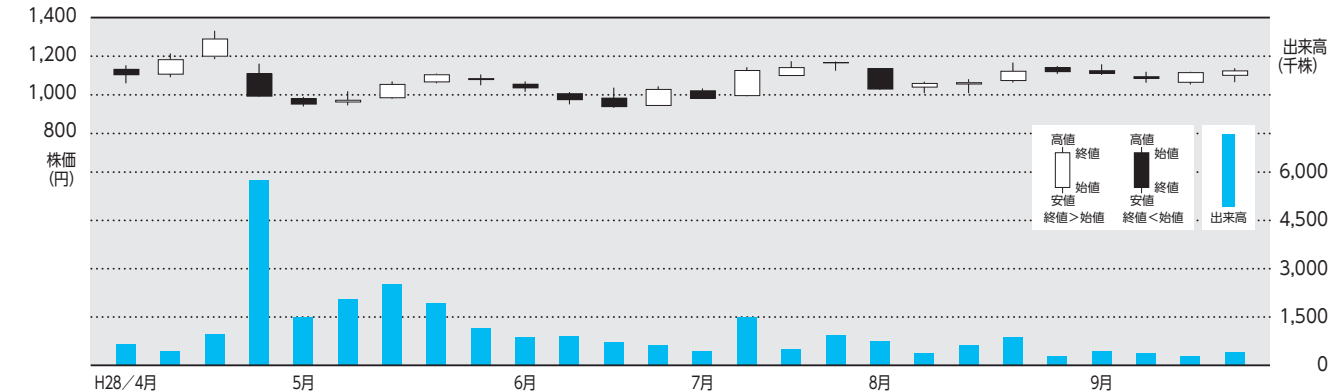
発行可能株式総数	180,000,000株
発行済株式総数	45,564,802株
株主数	6,519名

大株主 (上位10名)

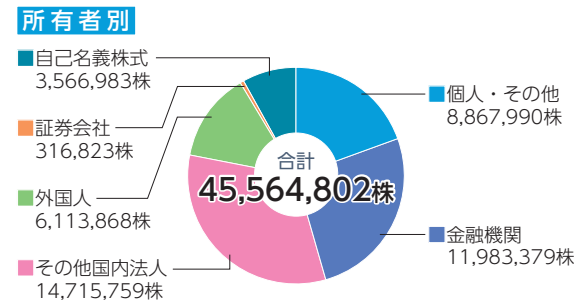
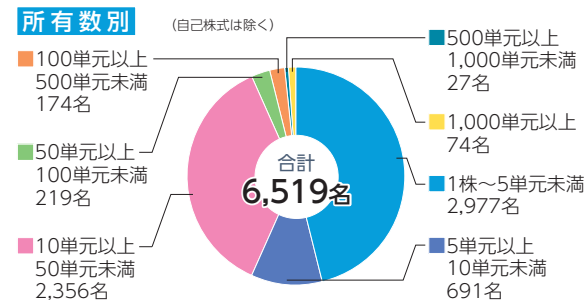
株主名	所有株数(株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,885,200	6.8
横河電機株式会社	2,793,691	6.6
新日鐵住金株式会社	1,987,303	4.7
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,625,500	3.8
株式会社みずほ銀行	890,612	2.1
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	863,500	2.0
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	837,100	1.9
住友不動産株式会社	674,000	1.6
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	667,600	1.5
東プレ株式会社	616,000	1.4

(注) 1. 当社は、自己株式を3,566,983株保有しておりますが、上記大株主からは除外してあります。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株価および出来高の推移



株式分布状況



会社概要

Corporate Data

会社概要

社名	株式会社横河ブリッジホールディングス
所在地	〒108-0023 東京都港区芝浦四丁目4番44号 TEL:03-3453-4111(代表)
資本金	9,435百万円
主な機能	経営戦略、法務・監査、経理・財務 総務・人事、IR・広報、技術研究開発

YBHDグループ

- 株式会社 横河ブリッジホールディングス**
グループ全体の経営管理
- 株式会社 横河ブリッジ**
橋梁・橋梁関連製品・土木・建築・保全・精密機器製造
- 株式会社 横河システム建築**
システム建築・開閉式建築システム・環境
- 株式会社 横河住金ブリッジ**
橋梁・橋梁関連製品・セグメント
- 株式会社 榎崎製作所**
橋梁・水処理・環境製品・鉄構製品
- 株式会社 横河技術情報**
情報処理サービス・ソフトウェア開発
- 株式会社 横河ニューライフ**
不動産管理・情報システム・人材派遣
- 株式会社 ワイ・シー・イー**
橋梁等構造物の総合エンジニアリング

役員一覧 (平成28年10月1日現在)

代表取締役会長	吉田 明
代表取締役社長	藤井 久司
取締役	高木 清次
取締役	宮本 英典
取締役	名取 暢
取締役	大島 輝彦
取締役	金子 俊一
取締役	高田 和彦
取締役	北田 幹直 (社外取締役)
取締役	亀井 泰憲 (社外取締役)
常勤監査役	北爪 恒平
常勤監査役	深沢 誠
監査役	志々目 昌史 (社外監査役)
監査役	八木 和則 (社外監査役)
監査役	西山 重良 (社外監査役)

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
配当金交付株主確定日	毎年3月31日、なお、中間配当を行う場合は、毎年9月30日
定時株主総会	毎年6月下旬
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 〒100-8233 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 電話お問い合わせ先	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 〒168-0063 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
同取次窓口	三井住友信託銀行株式会社 本店および全国各支店
公告方法	電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって 電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
公告掲載URL	http://www.ybhd.co.jp/

表紙の写真

城ヶ倉大橋(じょうがくらおおはし)

所在地:青森県青森市荒川南荒川山

構造形式:上路式アーチ橋 橋長360m

本橋はこのタイプの橋としては日本一のアーチ支間長255mを誇ります。秋には渓谷が美しい紅葉に包まれ、多くの観光客で賑わいます。



株式会社 横河ブリッジホールディングス

〒108-0023 東京都港区芝浦四丁目4番44号 TEL. 03-3453-4111(代表)

<http://www.ybhd.co.jp/>

